

砂防資料館

国土交通省 東北地方整備局
新庄工事事務所 立谷沢川砂防出張所

1. 自然環境にあふれる立谷沢川

立谷沢川は、霊峰月山を源流として、本沢・濁沢・赤沢などの各沢を集めて流れ下り、山形県立川町で最上川に合流する延長約39kmの川です。立谷沢川は、山形県下でも有数の清流として知られ、春の新緑・秋の紅葉とその自然環境は、四季を通じて地域内外の方々に親しまれています。

一方、立谷沢川は、ひとたび大雨が降ると、洪水氾濫を繰り返し、昔より田畑に襲いかかり多くの人命を奪い、「暴れ川」としても有名でした。このため昭和12年度より直轄砂防事業が開始され、平成13年度5月までに砂防ダム32基、流路工約12kmが整備され、流域住民の暮らしを守り、豊かな自然環境・景観と溪流の利用に配慮した砂防事業が繰り広げられています。

砂防資料館は、半世紀に渡る砂防事業の技術・資料等を保存展示し、一般公開を行っています（写真1）。

2. 土砂災害との戦い

立谷沢川流域の住民の方々にとって、その歴史は「暴れ川立谷沢川」との戦いでした。その様子は住民の方の言葉からも伺えます。

「私が今日までで一番心に残っていることは、砂防工事が始まる前の立谷沢川のことです。…（中略）…山の方で雨が降っているなと思うと瀬場部落まで30分くらいで濁流となって押し寄せてきました。土砂や石もいっしょに流れ出るため、ザーザーという川の音でなくゴトン！ゴトン！ゴトン！と激しい音をたてて流れる暴れ川でした。…（中略）…若いあちゃんを貰ったばかりの人が、増水した川を渡る決心をし、濁流に飛び込みました。若い気丈な男だったのですが、濁流に足を取られ流されていってしまいました。一緒にいた人は助けることもできずただ泣きわめくだけだったそうです。（さきちゃんだより 3号より抜粋）」

立谷沢川沿岸のあちこちには、龍神供養塔（龍神・水神）の石碑が数多く見られます。信仰によって洪水を鎮めようと願ったもので、「もう龍神の加護を待つより仕方がない」という言葉も読みとられ、如何に災害に悩んだかが龍神伝説からも伺えます。



写真1 砂防施設見学会にて小学生とスタッフ

3. 砂防資料館探訪

砂防資料館では、古くからの暴れ川としての立谷沢川の歴史、また、半世紀にわたる砂防事業の歴史という特色を生かした展示を行っています。

館内は、『砂防ダム資料コーナー』『鉱物資料コーナー』『昔の器具コーナー』『龍神資料コーナー』などいくつかのセクションに区分されています。

『砂防ダム資料コーナー』では、砂防施設の模型や写真で施設の構造を紹介しています。その中には、昭和初期の工事状況の貴重な写真も展示され、当時の現場風景がしのべられます（写真3）。

また、『昔の器具コーナー』では、昭和初期の砂防工事器具等を展示しています。これらは、どれも見入ってしまうほどです（写真5）。



また、資料館のマスコットのさきちゃん中には、各種の資料も展示されており、砂防事業の歴史が各種資料により読みとることが出来ます（写真8）。写真8を見るとぬいぐるみの存在に気づかれると思いますが、資料館のかわいいマスコット『さきちゃん』です。

4. 地域との交流と防災意識向上

資料館の特徴として、地域の方々との交流があげられます。

現場見学会や砂防講習会などのイベント、広報誌の発行（さきちゃんだより：年4回発行）などが行われています。（写真6、7）。特筆は、砂防絵画コンクールで近隣の小学生たちにより応募され、平成13年度までに第9回を数えています。

平成13年度の新庄工事事務所賞の絵画を写真2に掲載しますが、表題は『未来の立谷沢川自然のままに（立谷沢小学校6年生阿部寿明君）』でして、いつまでも自然のままであってほしいと思うところが、美しい色彩で描かれていると思います。この他にも水と親しむ姿が数多く描かれています。

お近くにおいでの際は、ちょっとたちよって見ませんか（下記案内図参照）。



写真2 コンクール入選作品

周辺の交通案内



開館日/月曜日～金曜日
 (休館日/土曜日・日曜日・祝日・年末年始)
 開館時間/9:00～16:00
 入館料無料

●空のご案内

東京・名古屋 山形空港 国道13号 立川町
 大阪・関西・札幌 庄内空港 国道47号 立川町
 (参考) 山形空港から出張所(砂防資料館)まで車で約1時間30分
 庄内空港から出張所(砂防資料館)まで車で約25分

●鉄道のご案内

東京 山形新幹線(直通) 新庄 陸羽西線 狩川
 東京 東北新幹線 古川 陸羽東線 新庄 陸羽西線 狩川
 大阪 白鳥・日本海 酒田 羽越本線 余目 陸羽西線 狩川
 仙台 仙山線 山形 東羽本線 新庄 陸羽西線 狩川
 福島 山形新幹線(直通) 新庄 陸羽西線 狩川
 盛岡 東北新幹線 古川 陸羽東線 新庄 陸羽西線 狩川
 新潟 羽越本線 鶴岡 羽越本線 余目 陸羽西線 狩川
 秋田 羽越本線 酒田 羽越本線 余目 陸羽西線 狩川
 (参考) JR陸羽西線狩川駅から徒歩5分

●車のご案内

東京 東北自動車道 村田J.C. 山形自動車道 山形北 国道13号 新庄 国道47号 立川町
 福島 国道13号 米沢 国道13号 新庄 国道47号 立川町
 盛岡 東北自動車道 北上 横手 国道13号 新庄 国道47号 立川町
 古川 国道47号 新庄 国道47号 立川町
 秋田 国道7号 酒田 国道47号 立川町
 新潟 国道7号 鶴岡 国道47号 立川町
 (参考) 山形から立川町まで車で約2時間
 新潟から立川町まで約3時間30分

〒999-6601 山形県東田川郡立川町大字狩川字堅田20-23
 TEL 0234(56)2050 FAX 0234(56)2081
<http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou>

砂防資料館



写真3 砂防ダム施設コーナー



写真4 流域の自然コーナー



写真5 昔の器具コーナー



写真6 砂防資料館見学風景 小学生



写真7 現場見学会にて記念撮影

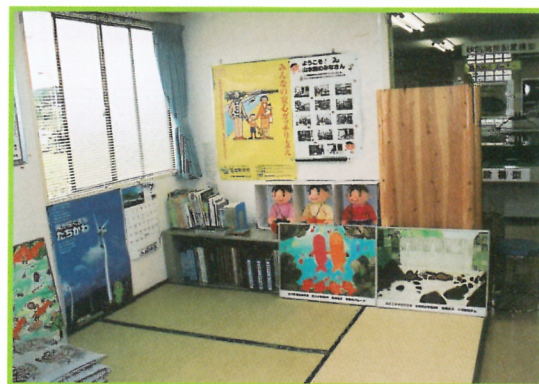


写真8 各種資料とマスコット「さきちゃん」

